

平成21年度第1回神之木地区センター委員会議事録

1. 日 時：平成21年6月5日（金） 14：00～15：00
2. 場 所：神之木地区センター3階中会議室
3. 参加者：会長、副会長他、委員8名・欠席5名
事務局：事務局長
地区センター：館長、副館長2名

4. 配布資料

(1) 平成21年度第1回神之木地区センター委員会次第

(2) 平成20年度運営状況について

①利用状況等	資料	1
②第2回利用者会議	資料	2
③決算報告	資料	3
④自主事業収支報告	資料	4
⑤ニーズ対応費	資料	5
⑥サービス向上・苦情対応・経費節減	資料	6

(3) 平成21年度予算について 資料 7

(4) 平成21年度自主事業計画について 資料 8

(5) 平成21年度のニーズ対応費について 資料 9

(6) その他

神之木地区センター祭りについて（旧秋の文化祭）

5. 議事

5-1

館長よる開会の挨拶

館長より、新しい副館長の紹介並びに両副館長自己紹介
会長の挨拶に続き、事務局長の挨拶。

事務局長より指定管理者として平成18年から現在に至るまでの運営経過説明。
平成17年度より利用料金制度になり、利用者数が一時減少したが平成20年度には、ほぼ12万人の利用があり以前の数字に戻った。また、平成22年度は指定管理者としての更新審査の年となる。神之木地区センターとしては、地域との連携・きずなを更に深める役割を持った施設としてその役割を果たして行きたい。

会長の司会により議事進行

5—2 平成20年度運営状況について

館長より利用状況について次の説明があり、質疑応答の後、了承された。

(1) 入館者数について

資料1参照

月平均1万人のご利用を頂き年間としては、ほぼ12万人のご利用があった。

4月、5月、12月、1月が少ない傾向にあるが11月は文化祭もあり入館者数が多かった。平成19年度より若干減少したがほぼ前年並みであった。

(2) 稼働率について

平成19年度、20年度の稼働率をグラフにて説明。20年度は前年を5ポイントUPした。

53,4%の稼働率となり念願の50%台となった。

(3) 部屋別稼働率について

レクホールと音楽室の稼働率が高いが、特徴的なのは、和室大並びに工芸室の稼働率がUP。全体的な稼働率UPに貢献した。和室に関しては、フローリングに改修した事によりダンス・体操等の団体の利用が増加した。

(4) 稼働率推移表について

平成19年度と20年度を比較したグラフであり、全体的に前年度をうわまった。

(5) 利用料収入 (6) 入館者について

平成19年度約526万円に対して20年度は約572万円となり8,8%UPとなり他のセンターに比べても健闘している。駅からも近く当センターは立地的にも恵まれているのが要因ともなっている。また、平成21年4月・5月の入館者数は平成20年度の同時期より5%UPしている

5—3 第2回利用者会議について

館長より、資料2に基づき3月7日の利用者会議の内容を紹介

3月に行われた利用者会議においては以下の様な意見交換・質疑応答・要望等を頂いた。

主な内容：

・音楽室のピアノに関して

ピアノの調子が悪くなる事があり、その割には料金設定が高いのではという質問に対して

ピアノの調律調整は非常に費用がかかり、料金の減額は難しいが検討課題と考えているとの回答

・料理室で出たゴミに関して

料理室で出たゴミを有料でも良いので引き取れないかという質問に対して横浜市の方針で引き取りや有料化は出来ないとの回答

- ・HPに関して
利用団体のページのリンクが出来ないかという質問に対して
今後の検討課題であると回答
- ・幼児の自主事業に関して
幼稚園から帰宅した子供向けの自主事業の要望に対して
21年度の自主事業で企画していると回答

5-4 その他

平成21年度の主な予定として

春の展覧会・チューリップ展（神之木は子安、大口台、西寺尾、西寺尾第2小）
0602スタンプラリー・神之木地区センター祭り（11月14・15日）等
を予定している旨の説明

会長よりここまでの説明に対する質問事項の確認があり。質問無し

5-5 決算報告について

館長より資料3に基づき説明

- ・神之木での予算管理は自主事業費・ニーズ対応費・事務費である。センターの全体予算は事務局で管理しており5月の理事会で20年度決算は承認されている。

5-6 自主事業収支報告について

館長より資料4に基づき説明

- ・平成20年度は約4000名の参加者があり横浜市の委託料65万円と利用者参加費415、416円負担頂き総経費として1,065,416円となった。
- ・特出すべきは、毎土曜日の9:00~10:00に実施したサタディモーニング体操で延べ1061名の参加を頂き大変好評であった。
- ・夏休みのFUNプロジェクトで4日間で延べ100名の小学生が参加。その作品が横浜開港150周年イベントで展示された。

5-7 ニーズ対応費の執行状況について

館長より資料5に基づき説明

- ・20年度のニーズ対応費で大きなものは、和室大の改修であるが当初予算よりオーバーとはなったが、フローリングにした事による利用率UPにつながっている。

5—8 サービス向上・苦情対応・経費節減について

館長より資料6に基づき説明。

平成20年度4月～9月に関しては昨年の委員会にて報告済なので平成20年10月以降のものに対して説明。

◎サービス向上に関して

- ・神之木常設展の設置により利用団体以外の方々からも掲示の依頼を受けるようになった
- ・プレールームに加湿器を設置した為、小さなお子さんの親御さんから喜ばれる
- ・和室をフローリングにリフォームした事により運動、ダンス系の団体が利用しやすくなった

◎経費削減努力事項に関して

館内の冷暖房や照明をこまめに調節する様に努めた。

◎苦情対応報告事項に関して

- ・ピアノの調子に関して苦情を頂く
- ・図書コーナーの図書数を増やす様、要望を受ける
- ・テレビをデジタル対応の大きなものにして欲しいとの要望を受ける

5—8 平成21年度予算について

館長より資料7に基づいて説明があり質疑応答の後、了承された。

21年度予算は横浜市よりの委託料・利用料金収入・雑収入（印刷代、自販機で42,244,000円を見込んでいる。

こらば全体として厳しい状況にあり、特に消耗品・光熱費の削減が求められている
質疑応答

Q、本年度の光熱費の予算を落として大丈夫なのか？

A、神之木は複合館の為、今までの光熱費の按分の仕方に問題があった。

（ガス代：神之木地区センター70% ナザレ、ケアプラザで30%）

事務局長より、今後、両館に交渉する予定との補足説明あり。

Q、個別メーターは設置できないのか？

A、こちらも可能かどうか調べる予定である

5—9 平成21年度自主事業計画について

副館長より資料8に基づき、以下の通り説明があり了承された。

- ・サタディモーニングは平均して37名の参加があり大変好評である
- ・0602スタンプラリーも無事終わり253名参加を頂き盛況であった
- ・おはなしの扉も始まりミニ展覧会、料理の事業は無事終了した
- ・これからの予定としては、小学生対象のエコ事業のソーラーオルゴールと成人対象のハマウィング（東電見学）並びにダンスパーティを7月に予定している

質疑応答

Q、予算が65万円とっているが、総経費がオーバーしているのでは？予算の記載の仕方がおかしいのでは？

A、参加料を予算の数字には入れていない点と参加料はもらった時点で使わなければいけないので、予算65万円という書き方は分かりづらいが、参加人数の変動等があるのでこのような記載になってしまっている。

Q、かめっこ事業で幼児向けの取り組みのパンフレットがもらえないか？

A、是非パンフレット等配布して頂きたい。ご協力を頂ける事は大変うれしい。

5-10 平成20年度のニーズ対応費の予算と計画について

館長より資料9に基づき、説明があり了承された。(総予算135万円)

- ・センター祭り、カラオケは前年同様の予算となっている
- ・和室の机と椅子に関しては、前年度に購入できなかったのが、本年度の予算に計上した。
- ・締太鼓に関しては壊れていたのが、既に購入した。
- ・ダンス系の団体のご利用の利便性を図る為、可動式の鏡の購入を考えている。

5-11 その他

館長よりその他の項目として秋の文化祭の名称変更の説明がある。

- ・本年度より秋の文化祭の名称を神之木地区センター祭りとし、より地域との交流が深まるイメージの祭りという名称とし例年より早めの11月14日(土)15日(日)で開催する予定である。

会長より質問事項の確認があり、質問なし。

副会長より閉会の辞

閉会

以上